

令和7年3月19日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

(仮称) 小網代大橋有識者合同ヒアリング

東京農業大学名誉教授 中村 幸人

東京科学大学教授 真田 純子

(仮称) 小網代大橋に関する提言について

標記について、次のとおり提言しますので、提言の内容を踏まえて、今後の事業推進に取り組まれますようお願いいたします。

○ デザインコンセプトの継承

デザインコンセプト等は、事業者が公共事業における設計やデザインの重要性を認識し、実際の現場の施工に反映されてこそ意味がある。しかしながら、設計から施工、その後の再整備と終わることの無い取組について、今般の設計等に従事した行政職員が関わり続けることも現実的でない。そこで、本会合により得られた設計思想や知見については、専用のアーカイブを活用し、次世代の職員へ着実に継承していくこと。

○ 技術の進歩に応じた柔軟な対応

公共事業の設計から完成までは長期に及ぶことから、その間、技術の進歩とともに社会の環境や倫理観も変化し、適切な対応が求められる。本会合により得られたデザインコンセプトについては踏襲する一方で、その実現のための具体的な手法については、常に新しいアイデアや技術を注視しながら柔軟に対応することで、より効果的かつ持続可能な事業を推進していくこと。

○ 県民や地元企業等との協働

公共事業による豊かな自然を再生する取組では、単に本来の樹林を再生することにとどまらず、苗木の育成や植樹の過程において、県民や地元企業等も参加できるプログラムを設けることや、人々が集い、特に子供たちの情操教育に資する身近な自然学習の場を提供することなど、県民や地元企業と積極的に協働し、誰もが親しみ易く、参画し易い事業となるよう工夫すること。

以上